

☆ 1自由民権運動…国会開設・憲法制定を要求する運動 1874~1890年ころ

発生期(2土族民権)→発展期(3豪農民権)→4激化期→5再結集期の4期に区分

… 1874~77 運動の中心は土族 西南戦争などの土族反乱で停滞

### インフレと農村

6インフレの進行 原因 7不換紙幣の乱発 ← ①8国立銀行の乱立(1876. 条例改正)  
②9西南戦争(1877)の軍事費(約4000万円)  
…米価の高騰…4年(1876~80)で約2倍

結果①政府 10財政難…インフレで実質的な税収減

⇒大蔵卿11大隈重信 [肥前]の財政改革 →成果出す

- ・12工場払い下げ概則[1880]…官営工場を売却しようとする→13条件が厳しく進まず
- ・その他 …外債(5000万円)の募集、地租の米納復活などの提案

結果②農村 14好景気…米価高騰(地租は変わらない)

### 豪農民権期 (1877-1881)

☆運動の変化…15豪農 (富裕な農民)・商工業者などの参加 …16豪農民権

17地租軽減 ・18国会開設の要求で(土族も含めて)一致

19立志社建白[1877]…片岡健吉[土佐]ら 20国会開設・地租軽減・対等外交を要求

→民権運動再燃 →21大阪で22愛国社再建[1878] 23国会開設請願署名運動

愛国社第4回大会 (大阪：241880年3月) …2府2 2県8万7千人の署名 (その後も増加)

→25国会期成同盟と改称 片岡健吉・河野広中らが中心

26第2回大会 (同年11月) で憲法草案の研究と作成を決議 →多くの27私擬憲法 が誕生

### 私擬憲法

(約60)

イギリス系…立憲君主制、議院内閣制、二院制など

「28私擬憲法意見」1879…29共存同衆(啓蒙団体 小野梓・馬場辰猪ら)

「30私擬憲法案」1881…31交詢社(実業者団体 慶應義塾出身者中心 馬場辰猪ら)

フランス系

「32日本憲法見込案」1881…33立志社 主権在民・一院制・抵抗権など

「33東洋大日本国憲按」1881

…34植木枝盛 35最も民主主義的(抵抗権・革命権)

「36五日市憲法草案(37日本帝国憲法草案)」1881

1968年に東京都五日市で発見

38千葉卓三郎ら百名以上の地方青年による学芸講演会

その他 「国憲意見」1881(39福地源一郎)

「憲法草稿評林」(小田為綱)など

政府の対応と内部対立 内務卿<sup>40</sup>伊藤博文

弾圧：<sup>41</sup>集会条例 [42]1880]…集会・結社の自由の弾圧 →各地の政談演説会の取締

{ 政府内対立 <sup>43</sup>大隈重信(急進派…即時国会開設) ↔ <sup>44</sup>伊藤博文・岩倉(慎重派…時期尚早)  
<sup>45</sup>開拓使官有物払い下げ事件 [46]1881]

開拓使長官<sup>47</sup>黒田清隆から<sup>48</sup>五代友厚(関西貿易社)へ 法外な安価

同じ<sup>49</sup>薩摩藩出身 →藩閥政府攻撃の激化・国会開設要求の激化

→<sup>50</sup>明治十四年の政変…(a) <sup>52</sup>国会開設の勅諭…<sup>53</sup>10年後(1890年:明治23年)の国会開設を約束  
 [ <sup>51</sup>1881 ] (b) 払い下げは中止 (c) <sup>54</sup>大隈の参議罷免 → 薩長藩閥政府の確立

政党の結成

	<sup>55</sup> 自由党 (1881-84)	<sup>56</sup> 立憲改進黨 (1882-96)	<sup>57</sup> 立憲帝政党 (1882-83)
党首	<sup>58</sup> 板垣退助	<sup>59</sup> 大隈重信	<sup>60</sup> 福地源一郎
性格	<sup>61</sup> フランス流、急進的	<sup>62</sup> イギリス流、漸進的	御用政党、保守的
主張	主権在民、普通選挙、一院制	君民同治、制限選挙、二院制	主権在君、制限選挙、二院制
支持層	不平士族、 <sup>63</sup> 農村	<sup>64</sup> 都市実業家、知識人	神官・僧侶・国学者・官僚
その他	<sup>65</sup> 国会期成同盟中心 「 <sup>66</sup> 自由新聞」「絵入自由新聞」 <sup>67</sup> 中江兆民、 <sup>68</sup> 植木枝盛	<sup>69</sup> 慶應義塾出身者など <sup>70</sup> 沼間守一( <sup>71</sup> 嚶鳴社)、 <sup>72</sup> 小野 梓	政府の保護 丸山作樂

※女性民権家も活躍 <例>岸田(中島)俊子、景山(福田)<sup>ひでこ</sup>英子、楠瀬喜多(<sup>くすのせ</sup>“民権ばあさん”)

※<sup>73</sup>板垣遭難事件[1882]…岐阜の演説会場で襲われ負傷 「板垣死すとも自由は死せず」(俗説)

【時代順問題に挑戦】<2011年度 本試験 日本史Aより>

- I ③ 愛国社のよびかけによって、国会期成同盟が結成された。
- II ② 政府は民権を主張する新聞や雑誌を取り締まるため、讒謗律・新聞紙条例を制定した。
- III ① 板垣退助・後藤象二郎らが、民撰議院設立の建白書を左院に提出した。

☆ 1自由民権運動…国会開設・憲法制定を要求する運動 1874~1890年ころ

発生期(2土族民権)→発展期(3豪農民権)→4激化期→5再結集期の4期に区分

… 1874~77 運動の中心は土族 西南戦争などの土族反乱で停滞

インフレと農村

6 \_\_\_\_\_ の進行 原因 7不換紙幣の乱発 ← (①8国立銀行の乱立(1876. 条例改正)  
②9西南戦争(1877)の軍事費(約4000万円)

…米価の高騰…4年(1876~80)で約2倍

結果①政府 10財政難…インフレで実質的な税収減

⇒大蔵卿11 \_\_\_\_\_ [肥前]の財政改革 →成果出ず

・12工場払い下げ概則[1880]…官営工場を売却しようとする→13条件が厳しく進まず

・その他 …外債(5000万円)の募集、地租の米納復活などの提案

結果②農村 14好景気…米価高騰(地租は変わらない)

豪農民権期 (1877-1881)

☆運動の変化…15 \_\_\_\_\_ (富裕な農民)・商工業者などの参加 …16豪農民権

17 \_\_\_\_\_ ・18 \_\_\_\_\_ の要求で(土族も含めて)一致

19立志社建白[1877]…片岡健吉[土佐]ら 20国会開設・地租軽減・対等外交を要求

→民権運動再燃 →21大阪で22愛国社再建[1878] 23国会開設請願署名運動

愛国社第4回大会 (大阪：241880年3月) …2府2 2県8万7千人の署名(その後も増加)

→25国会期成同盟と改称 片岡健吉・河野広中らが中心

26第2回大会 (同年11月) で憲法草案の研究と作成を決議 →多くの27 \_\_\_\_\_ が誕生

私擬憲法

(約60)

イギリス系…立憲君主制、議院内閣制、二院制など

「28私擬憲法意見」1879…29共存同衆(啓蒙団体 小野梓・馬場辰猪ら)

「30私擬憲法案」1881…31交詢社(実業者団体 慶應義塾出身者中心 馬場辰猪ら)

フランス系

「32日本憲法見込案」1881…33立志社 主権在民・一院制・抵抗権など

「33東洋大日本国憲按」1881

…34植木枝盛 35最も民主主義的(抵抗権・革命権)

「36五日市憲法草案(37日本帝国憲法草案)」1881

1968年に東京都五日市で発見

38千葉卓三郎ら百名以上の地方青年による学芸講演会

その他 「国憲意見」1881(39福地源一郎)

「憲法草稿評林」(小田為綱)など

政府の対応と内部対立 内務卿<sup>40</sup> \_\_\_\_\_

弾圧：<sup>41</sup> \_\_\_\_\_ [<sup>42</sup>1880]…集会・結社の自由の弾圧 →各地の政談演説会の取締

{ 政府内対立 <sup>43</sup>大隈重信(急進派…即時国会開設) ← → <sup>44</sup>伊藤博文・岩倉(慎重派…時期尚早)  
<sup>45</sup>開拓使官有物払い下げ事件 [<sup>46</sup>1881]

開拓使長官<sup>47</sup>黒田清隆から<sup>48</sup>五代友厚(関西貿易社)へ 法外な安価

同じ<sup>49</sup>薩摩藩出身 →藩閥政府攻撃の激化・国会開設要求の激化

→<sup>50</sup>明治十四年の政変…(a) <sup>52</sup>国会開設の勅諭…<sup>53</sup>10年後(1890年:明治23年)の国会開設を約束  
 [<sup>51</sup> \_\_\_\_\_ ] (b) 払い下げは中止 (c) <sup>54</sup>大隈の参議罷免→薩長藩閥政府の確立

政党の結成

	<sup>55</sup> _____ (1881-84)	<sup>56</sup> _____ (1882-96)	<sup>57</sup> _____ (1882-83)
党首	<sup>58</sup> 板垣退助	<sup>59</sup> 大隈重信	<sup>60</sup> _____
性格	<sup>61</sup> フランス流、急進的	<sup>62</sup> イギリス流、漸進的	御用政党、保守的
主張	主権在民、普通選挙、一院制	君民同治、制限選挙、二院制	主権在君、制限選挙、二院制
支持層	不平士族、 <sup>63</sup> 農村	<sup>64</sup> 都市実業家、知識人	神官・僧侶・国学者・官僚
その他	<sup>65</sup> 国会期成同盟中心 「 <sup>66</sup> 自由新聞」「絵入自由新聞」 <sup>67</sup> 中江兆民、 <sup>68</sup> 植木枝盛	<sup>69</sup> 慶應義塾出身者など <sup>70</sup> 沼間守一( <sup>71</sup> 嚶鳴社)、 <sup>72</sup> 小野 梓	政府の保護 丸山作樂

※女性民権家も活躍 <例>岸田(中島)俊子、景山(福田)<sup>ひでこ</sup>英子、楠瀬喜多<sup>くすのせ</sup>(”民権ばあさん”)

※<sup>73</sup>板垣遭難事件[1882]…岐阜の演説会場で襲われ負傷 「板垣死すとも自由は死せず」(俗説)

【時代順問題に挑戦】<2011年度 本試験 日本史Aより>

- I 愛国社のよびかけによって、国会期成同盟が結成された。
- II 政府は民権を主張する新聞や雑誌を取り締まるため、讒謗律・新聞紙条例を制定した。
- III 板垣退助・後藤象二郎らが、民撰議院設立の建白書を左院に提出した。